

潟東ゆう学館

令和5年度年次報告書

指定管理者 株式会社関越サービス

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類変更後も、夏場の猛暑続き・冬場の積雪・元旦の能登半島地震発生と集客の出足をくじかれる状況が多く、令和5年度の集客は大変厳しい展開となりましたが、幸い大きな事故や設備トラブルもなく無事に管理運営を終えることができました。

令和5年度利用者数は44,943人(昨年度実績12,735人増加/昨対139.5%)ですが、増加要因である昨年度11月～1月休館の利用者数減少分を除くと実質は昨対110%前後の増加となります。評価指数である55,000人には及びませんでした。前述のとおり他施設が集客に苦しんでいるなか、このような結果を得られた背景としては、スタッフの接客対応向上はもとより、老人福祉センターが提供できない時間帯の入浴客が伸びたこと、令和5年10月から展開した弊社指定管理9施設共催イベント【秋の湯めぐりスタンプラリー】【お風呂大好き選手権】の新潟市内施設回遊・リピート利用促進があったと考えております。

また、入浴設備修繕・空調設備運用方法見直しにて湯温・室温管理を励行した結果、光熱水費節約においては一定の成果が見られました。そして、自然災害・体調不良者等発生時には速やかに対応できており、異物混入等の人的トラブルや突発的な設備トラブル発生時以外は利用休止することなく営業を継続しております。これらも施設、そして利用者様の安全・安心を守るという点において大きな成果であったと思われまます。

今後につきましては、引き続き新規利用者増につながるイベント開催ならびに夏場のコミュニティオアシス開放、そして日常の運営に関してご利用者の満足度を上げるべく「アンケート箱」の利用者の声を運営に反映しながら、令和5年度同様に安全・安心・楽しいを旨とした施設運営に取り組んでまいります。